

ND-BFC200

フロント設置用 取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しください。

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）
●カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口
電話：☎0120-944-1111【一般電話】044-572-8101FAX：044-572-8103
＜ご注意＞
●「0120」で始まる☎フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。
●修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。
インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

パイオニア株式会社
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号
©パイオニア株式会社 2011
< KYTZX > < 11C00000 > < CYR1076-A >

carrozzeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
	注意	この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。
	このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。
	このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（別紙の「安全上のご注意」もお読みください）

警告

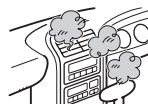
〔異常時の処置〕

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

警告

〔取り付け〕

はがれないようにしっかり取り付ける



取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。ときどき点検してください。

〔使用方法〕

車両周辺確認は目視で行う



- 本製品はドライバーの視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。車両周辺状況は必ず目視で確認をしてください。
- 本製品は広角レンズを使用しておりますので、近くは広く、遠くは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。車両周辺状況は必ずドライバーの目視で確認をしてください。

走行前には点検する



- カメラスタンドの取付状態を走行前に点検してください。
 - ネジがゆるんでいないか
 - カメラスタンドがはがれかけていないか
- 走行中にカメラがはがれると事故の原因になります。

注意

〔使用方法〕

カメラのケーブルに傷をつけない



傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、故障の原因となることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。
保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご連絡ください。
所在地、電話番号は本機に付属の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ、沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 使用上のご注意

- 自動洗車機または、高圧力の水で洗車を行わないでください。カメラ内に水が入ったり、カメラが落下する恐れがあります。
- カメラレンズ表面や本体が凍結した場合はライターなどで加熱しないでください。故障の原因となります。
- 本製品を前方確認用として使用する場合は正像タイプです。
正像タイプとは、上下左右ともに実際に見たまを映すカメラです。
- 太陽光を直接映したり、強い光（太陽光のパンパーからの反射等）が入射した場合、映り方が変わることがありますが故障ではありません。
- 本製品はドライバーの前方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映しだせるものではありません。車両周辺状況は必ず目視で確認をしてください。
- 本製品は広角レンズを使用しております。広角レンズの特性上、近くは広く、遠いところは狭く映りますが、本製品はその特性を歪み補正により最小限に抑え、自然に表示されます。ただし、画面端など歪み補正が難しい部分もあります。その部分については実際の距離感と異なりますので、車両周辺状況は必ず目視で確認をしてください。
- 本製品の設定内容は 1 つのみ記憶されます。したがって、以下の場合には必ず設定値を変更してからご使用ください。
 - ・ 車の買い換えなどで、他の車へ付け替えるとき
 - ・ 取り付け位置を変更したとき
- 本製品を過信せずに注意して運転してください。

角レンズの特性上、近くは広く、遠いところは狭く映りますが、本製品はその特性を歪みの補正により最小限に抑え、自然に表示されます。ただし、画面端など歪み補正が難しい部分もあります。その部分については実際の距離感と異なりますので、車両周辺状況は必ず目視で確認をしてください。

- 本製品の設定内容は 1 つのみ記憶されます。したがって、以下の場合は必ず設定値を変更してからご使用ください。
 - ・車の買い換えなどで、他の車へ付け替えるとき
 - ・取り付け位置を変更したとき
- 本製品を過信せずに注意して運転してください。

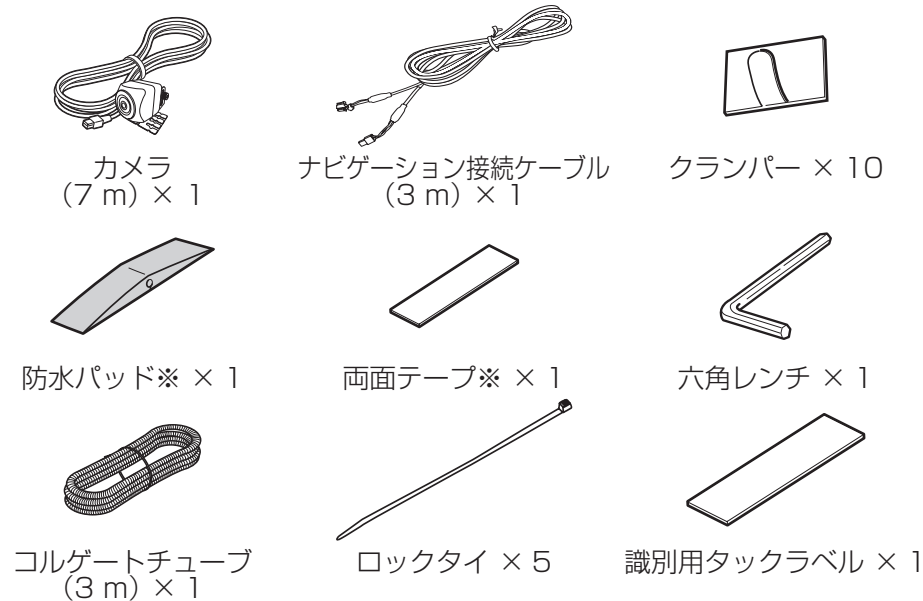
●仕様

共通部	
使用電源	DC8.0 V (5.7 V ～ 8.5 V 使用可能)
アース方式	マイナスアース方式
最大消費電流	約 150 mA
出力映像	鏡像（後方確認用） / 正像（前方確認用）
映像出力	NTSC 方式準拠 1 Vp-p (75 Ω)
外形寸法	
カメラユニット	23 (W) mm $\times$ 23 (H) mm $\times$ 24 (D) mm
質量	
カメラ部	150 g（ケーブル含む）
ケーブル長	カメラ本体ケーブル 7m ナビゲーション接続ケーブル 3m
カメラ部	
撮像素子	カラー CMOS センサー 1/4 インチ
画素数	有効画素数 約 31 万画素
レンズ	広角 焦点距離 f=0.82 mm F 値 2.6
画角	水平：約 190° 垂直：約 158°
IR カット（車載用特殊フィルター）	有り
アイリス方式	電子アイリス
走査方式	インターレース
同期方式	内部同期
S/N	40 dB 以上（推奨照度にて）
水平解像度	約 300 TV本
照度範囲	約 0.9 lx ～ 10 lx
動作温度範囲	－ 30℃ ～ +70℃
保存温度範囲	－ 40℃ ～ +85℃

付属品

カメラユニット（ケーブル長 7 m）、ナビゲーション接続ケーブル（3 m）、クランパー、防水パッド、
両面テープ、六角レンチ、コルゲートチューブ（3 m）、ロックタイ、識別用タックラベル、取扱説明書、
安全上のご注意、保証書、修理窓口・ご相談窓口のご案内

● 接続・取り付け部品を確認する



● × 毛

- ※はバック設置用として接続する場合に使用します。フロント設置用として接続する場合は使用しません。

● 取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- カメラは確実に取り付け、固定してください。
確実に固定しないと、走行中に外れたりする危険性があります。
- 車両先端からはみださない位置に取り付けてください。
- 車の進行方向に対してまっすぐ取り付けてください。
- カメラは車の中央付近の位置に合わせて取り付けてください。
- カメラの角度を調整してカメラが車両に当たらない位置に取り付けてください。
- エンジンルームが冷めた状態で取り付けてください。
エンジンルームが温まっていると怪我や火傷をする場合があります。
- コード類の配線は、高温部を避けて取り付けてください。
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となる場合があります。
- エンジンルーム内の配線はコルゲートチューブを使用して取り付けてください。

- 取り付けは天気の良い日中に行ってください。雨や霧の日など湿気の多いときに取り付けると、接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- 接着テープの接着面は指で触れない、貼り直したりしないでください。接着力が弱くなり、はがれやすくなります。
- カメラスタンドをフッ素樹脂加工処理された車体やガラスに貼り付けないでください。カメラが落下する恐れがあります。
- 取り付け後、24 時間以内は絶対に水気（水、雨、霧、雪など）に当たらないでください。また、カメラに無理な力加わるようなことはしないでください。
- ナビゲーション本体の電源コードの車速信号入力（ピンクリード線）が正しく接続されていないときは、カメラ映像を表示することができません。

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

粘着テープを貼り付ける前に

- テープを貼り付けるところは、汚れをよくふき
とってください。

● ✕ 毛

- 本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

取り付け例

⚠️ ご注意

- 本製品のカメラ前面部は「道路運送車両の保安基準第18条第1項第2号」に準拠しています。保安基準に適合させるため、取り付けるときは、図のように取り付けてください。正しく取り付けないと、「道路運送車両の保安基準」に適合しない場合があります。

- カメラ後部が必ず車両に隠れるように取り付けてください。

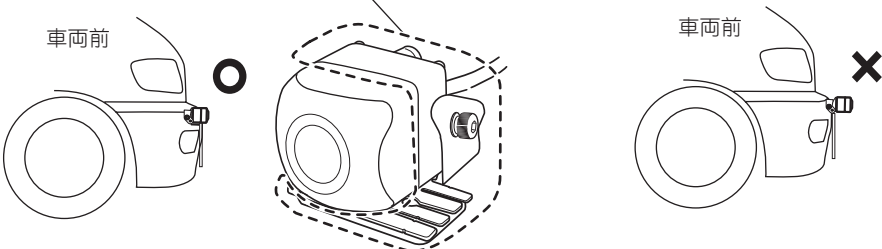
カメラの正しい取り付け例

- カメラ後部が必ず車両に隠れるように取り付けてください。

カメラの誤った取り付け例

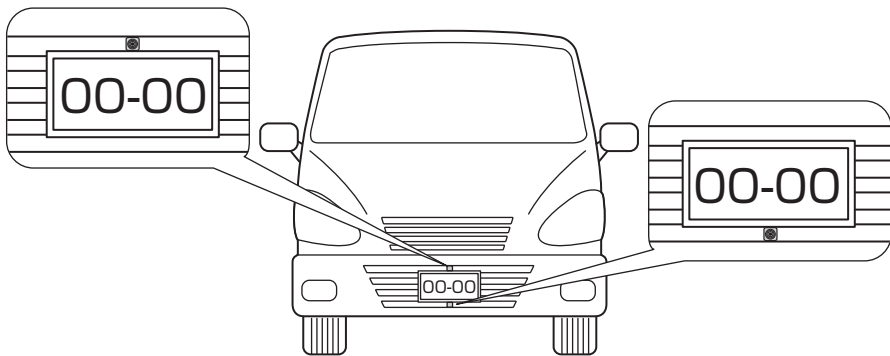
- カメラ後部が車両に隠れない取り付けをしないでください。

カメラ後部(破線部分)を必ず隠れるよう取り付けてください。



カメラの取り付け位置の正しい取り付け例

- カメラ後部が必ず車両に隠れるように取り付けてください。



メモ

- カメラは車の中央付近に取り付けてください。

カメラの取り付け

取り付け場所に合わせたカメラスタンドの金具の取り付け

車の形状や取り付け位置に合わせて変更してください。

1 カメラを取り付ける面の汚れをふきとる

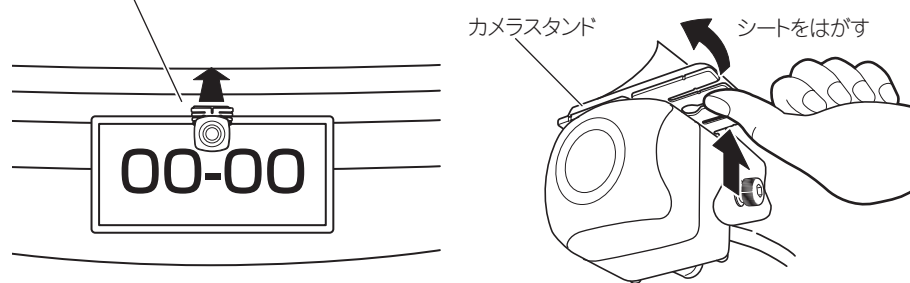
取り付け面に付着している湿気、ホコリ、汚れ、油などをふきとります。



2 「carrozzeria」のロゴが上になるように貼り付ける

カメラスタンドを指で押して、貼り付け面を密着させてください。接着面に手を触れたり、貼り直したりすると、接着力が低下してカメラスタンドがはがれる恐れがあります。

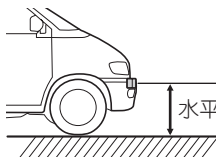
ナンバーを隠さないように貼り付けてください。また中央部分に貼り付けてください。



メモ

- カメラスタンドが天面につけられない場合はカメラスタンドを外して貼り付け面が下になるように付け替えてください。

3 地面と水平になるように、角度を調整する



メモ

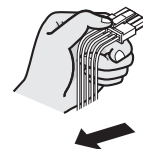
- カメラを取付位置にテープ等で仮止めし、カメラ上面が地面と水平になるように角度を調節してから取り付けネジを本締めしてください。一度取り付けると両面テープの接着力が弱くなるため、貼り直すことはできません。

接続する

コネクターの着脱のしかた

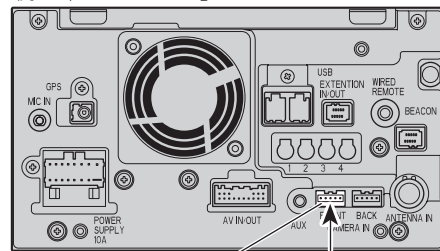
- コネクターは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、コネクターの上下の向きを確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となります。

- コネクターを外すときは、図のようにコネクター部分を持ってロックを押しながら、引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



接続図

ナビゲーション本体
例：「AVIC-ZH09」



フロントカメラ用
接続端子（白）

識別用タックラベル
「フロント」と書いてケーブル
に貼ってください。

バック／フロントカメラユニット

フロント
ナビゲーション
接続ケーブル

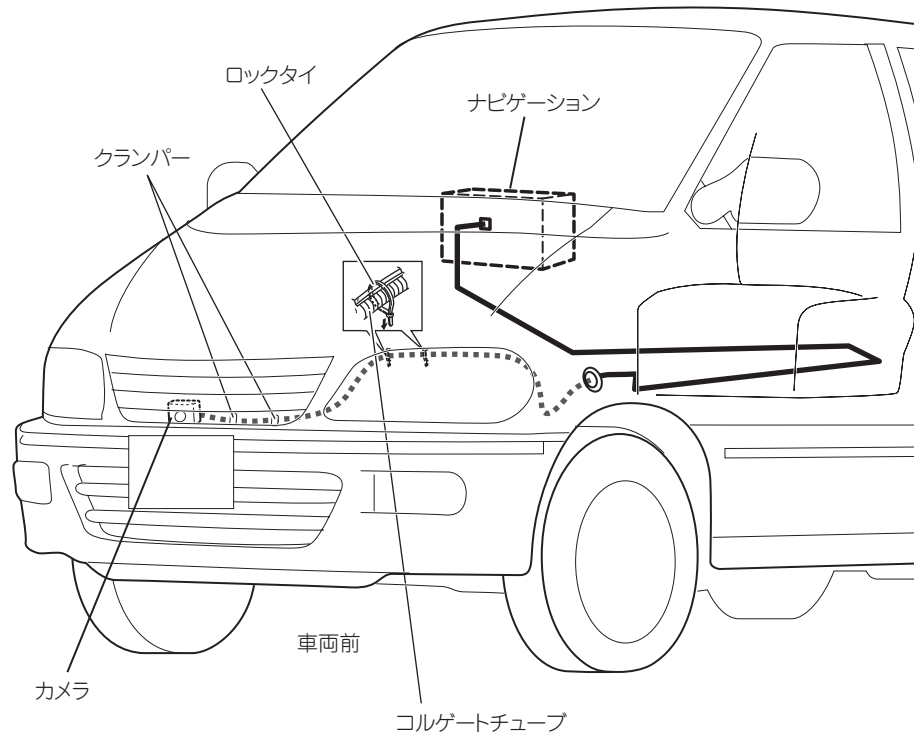
7 m

注：カメラ接続ケーブルに他の機器のリード線を接続しないでください。

注：必ずフロントカメラ用接続端子（白）に接続してください。隣にある黒い端子はバックカメラ用接続端子です。間違えて接続しないようご注意ください。

注：フロントとバックの両方にカメラを取り付ける場合、どちらのカメラ用のコネクタかわからなくなる可能性があります。フロントカメラを取り付ける場合は識別用タックラベルに「フロント」と書いてケーブルに貼ってください。

カメラのコードを処理する



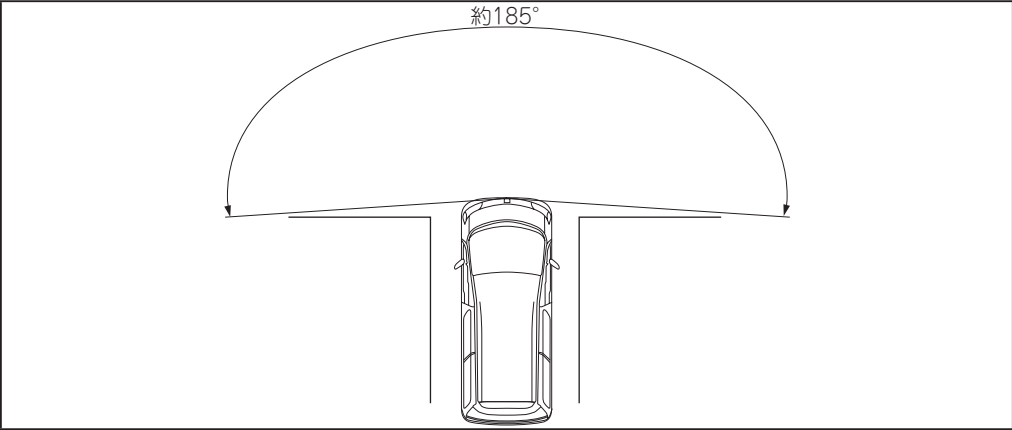
- 注：カメラのコードは、高温になる車両の装置に接触しないようにしてください。
- 注：クラッシュチューブを取り付ける場所は、湿気、ホコリ、汚れ、油などをふきとってください。
- 注：エンジンルーム内の配線はクラッシュチューブを使用して取り付けてください。
- 注：クラッシュチューブを車両の外側につける場合は、ケーブルをはさむ部分をしっかり押して、突出量を5 mm未満にしてください。

カメラの視野角度について

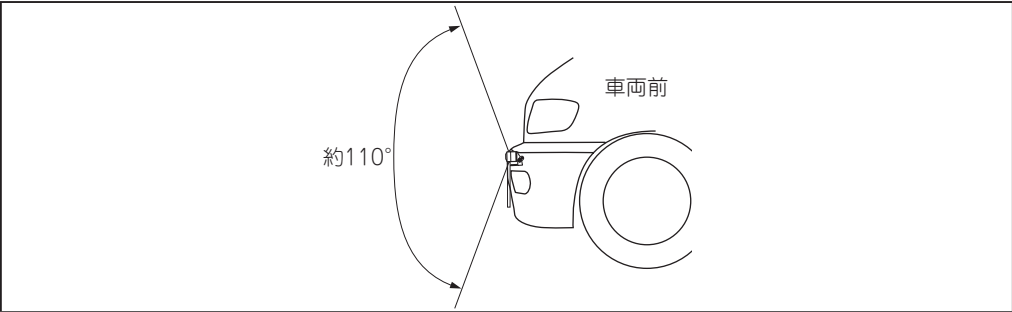
フロント設置時のカメラの視野角度は、以下のようになっています。
取付位置や自車の状況、路面状況により表示される範囲が異なる場合があります。

地面と水平に取り付けた場合：

左右方向



上下方向



カメラの設定について

設定の前に

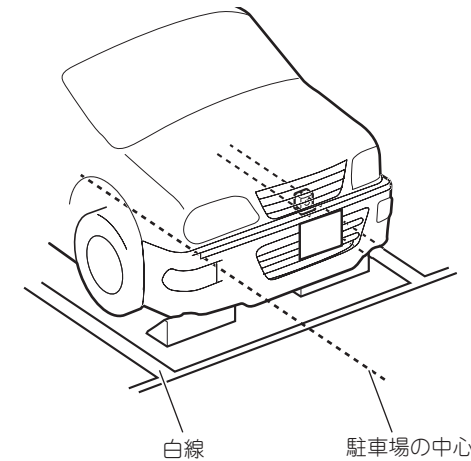
- 設定するときは、必ずエンジンをかけて行ってください。
- 設定が終了するまでエンジンを切らないでください。
- 初期設定する場合は、自車幅の位置がわかる白線のある駐車場で行ってください。
- 設定中の事故を防ぐため、車を完全に停車できるタイヤ止めのある駐車場で設定を行ってください。
- 設定はカメラ映像をもとに行います。実際の前方の状況とは異なります。
- 本機の操作はナビゲーションのタッチパネル操作で行います。ナビゲーションとカメラが接続されていないとカメラの設定をすることはできません。

設定に入る前の準備

本機の設定に入る前に、写真の撮影を行う場所へ車を移動させます。カメラ映像の確認は車のタイヤ止めのある安全な場所で行います。

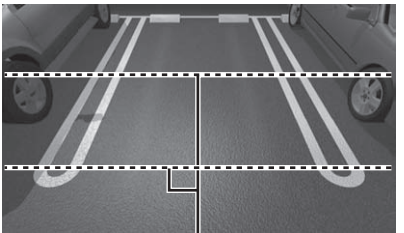
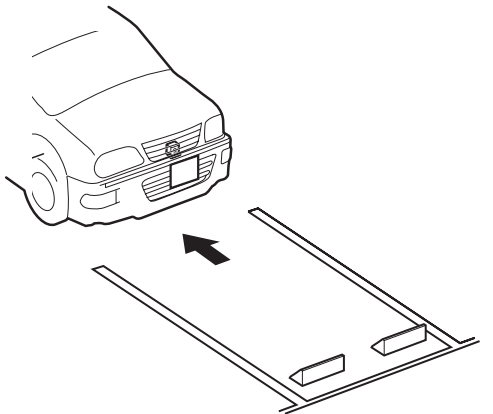
1 車を止める

白線のある駐車場の中央に止めてください。



2 車を移動させる

車を止めた場所から写真を撮影する場所まで車を後退させます。



上記写真を目安に、点線に白線が掛かる位置で撮影を行ってください。

注：設定は白線とタイヤ止めのある駐車場で行ってください。
白線の中央から車の位置がずれてしまうと正しく設定できません。

はじめてお使いになるとき

本機をお使いになるときはカメラで表示される映像の確認を行ってください。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



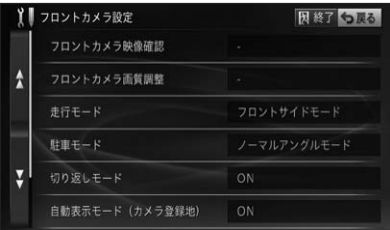
4 【カメラ設定】にタッチする



5 【フロントカメラ】にタッチする



6 【フロントカメラ映像確認】にタッチする



7 【確認】にタッチする



8 【戻る】にタッチする



メモ

- 画面にタッチするとフロントサイドモード画面とノーマルアングルモード画面が交互に切り換わります。

9 【終了】にタッチする

ナビゲーション画面に戻ります。

注：全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。車両周辺状況は必ず目視で確認をしてください

映像画質を調整する

カメラ映像の明るさや色の濃さを調整することができます。
詳しくはナビゲーションの取扱説明書をご確認ください。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【フロントカメラ】にタッチする



6 【フロントカメラ画質調整】にタッチする



【黒の濃さ】	□（白）にタッチすると薄くなり、■（黒）にタッチすると濃くなります。
【コントラスト】	【低】にタッチすると白黒の差が小さくなり、【高】にタッチすると白黒の差が大きくなります。
【明るさ】	【暗】にタッチすると暗くなり、【明】にタッチすると明るくなります。
【色温度】	■（赤）にタッチすると暖色系が強くなり、■（青）にタッチすると寒色系が強くなります。
【色の濃さ】	【淡】にタッチすると淡くなり、【濃】にタッチすると濃くなります。
【色合い】	■（赤）にタッチすると赤が強くなり、■（緑）にタッチすると緑が強くなります。

走行モードを設定する

走行中に、最初に表示させたい映像を設定します。(道路上を走行している場合に走行中と判断します。)

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



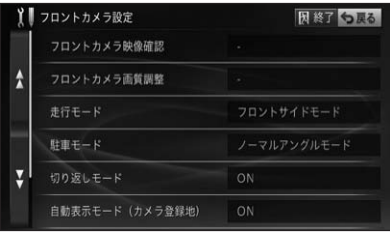
4 【カメラ設定】にタッチする



5 【フロントカメラ】にタッチする



6 【走行モード】にタッチする



7 【フロントサイドモード】または【ノーマルアングルモード】にタッチする



8 【終了】にタッチする

設定が完了し、ナビゲーション画面に戻ります。

駐車モードを設定する

駐車中に、最初に表示させたい映像を設定します。(道路から外れて駐車場内などを走行している場合に駐車中と判断します。)

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【フロントカメラ】にタッチする



6 【駐車モード】にタッチする



7 【フロントサイドモード】または【ノーマルアングルモード】にタッチする



8 【終了】にタッチする

設定が完了し、ナビゲーション画面に戻ります。

切り返しモードを設定する

フロントカメラ映像とバックカメラ映像を自動的に切り返して使用することができます。バックカメラ映像表示中にシフトレバーをリバース (R) 以外に入れたときで、車速が約 10km/h 以下のときに自動的にフロントカメラ映像に切り換わります。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【フロントカメラ】にタッチする



6 【切り返しモード】にタッチする



7 【ON】または【OFF】にタッチする



8 【終了】にタッチする

設定が完了し、ナビゲーション画面に戻ります。

カメラ登録地を自動表示する

自車がフロントカメラ設定地点の半径約 5 m 以内に入り、車速が約 10km/h 以下になった場合に、自動的にフロントカメラ映像が表示することができます。地点の登録方法はナビゲーションの取扱説明書をご確認ください。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



5 【フロントカメラ】にタッチする



6 【自動表示モード (カメラ登録地)】にタッチする



7 【ON】または【OFF】にタッチする



8 【終了】にタッチする

設定が完了し、ナビゲーション画面に戻ります。

起動時にカメラを自動表示する

ナビゲーション起動時にカメラの映像を表示させることができます。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】
ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



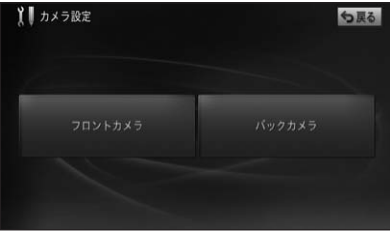
3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



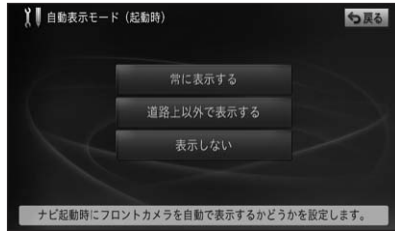
5 【フロントカメラ】にタッチする



6 【自動表示モード（起動時）】に
タッチする



7 【常に表示する】、【道路上以外で
表示する】、【表示しない】から
選んでタッチする



【常に表示する】	ナビゲーション起動時に、カメラ映像が表示されます。
【道路上以外で表示する】	道路以外（駐車場など）と判断される場所でナビゲーションを起動した場合、カメラの映像が表示されます。
【表示しない】	起動時の自動表示を行いません。

メモ

- 起動時に表示されたカメラ映像は、シフトレバーをリバース（R）にするか、走行開始後、車速が約 20 km/h になった時点で消えます。

カメラ映像を自動登録する

カメラが表示した地点を自動でカメラ登録地として登録することができます。

1 ナビゲーション画面で【メニュー】
ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



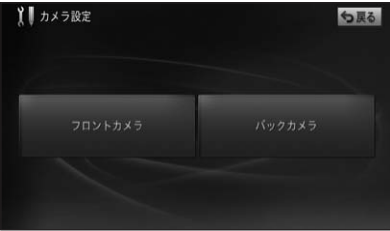
3 【システム設定】にタッチする



4 【カメラ設定】にタッチする



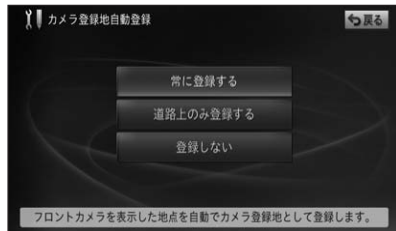
5 【フロントカメラ】にタッチする



6 【カメラ登録地自動登録】にタッ
チする



7 【常に登録する】、【道路上のみ登
録する】、【登録しない】から選ん
でタッチする



【常に登録する】	自車が道路上だけでなく道路以外（駐車場など）にある場合でもカメラ登録地を保存する。
【道路上のみ登録する】	自車が道路上にある場合のみカメラ登録地を保存する。
【登録しない】	カメラ登録地を保存しない。

メモ

- カメラ登録地自動登録の設定が「常に登録する」または「道路上のみ登録する」に設定されていても、繰り返しモードによるフロントカメラ表示や自動表示モード（起動時）によるフロントカメラ表示の場合はカメラ地点に登録されません。

カメラ設定を初期状態に戻す

フロントカメラの設定を初期化する（工場出荷時の状態に戻す）ことができます。

次のようなときは設定の初期化を行ってください。

- カメラの位置を変更したとき
- 使用する車を変更したとき

1 ナビゲーション画面で【メニュー】ボタンを押す

2 【設定・編集】にタッチする



3 【システム設定】にタッチする



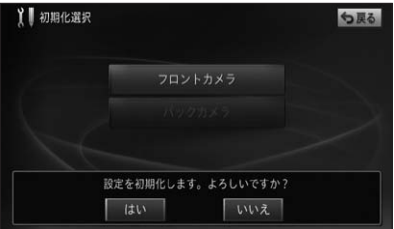
4 【NAVI・AV 設定初期化】にタッチする



5 【カメラ設定】にタッチする



6 【フロントカメラ】- 【はい】にタッチする



すべての設定内容が初期化され工場出荷時の状態に戻ります。

注：初期化をやめる場合は、【いいえ】にタッチします。

画面表示について

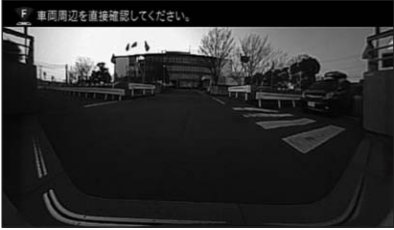
本機は2種類の画面を表示することができます。

表示されている画面をタッチすると、表示モードが切り換わります。

画面をタッチするごとに、以下のように切り換えることができます。

ノーマルアングルモード

前方を見た視点のカメラ映像です。
水平約 185° 垂直約 110° で映像処理をしています。



フロントサイドモード

前方の左右を同時に見た視点のカメラ映像です。



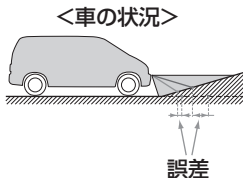
ノーマルアングルモードに戻る

付録

画面と実際の路面との誤差

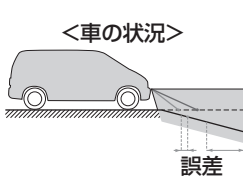
以下の状態のときは、実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

急な上り坂が前方にあるとき



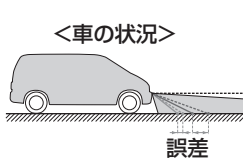
上り坂に障害物があった場合は、実際より遠くにあるように見えます。

急な下り坂が前方にあるとき



下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

車が傾いているとき



乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路に誤差が生じます。